

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	子宮頸管長測定における Tracing 法、single-line 法、double-line 法での早産予測に関する比較検討		
1. 研究の目的と方法	妊娠中期の経腔超音波断層法による子宮頸管長測定において、計測方法の違いが早産リスクの診断精度と母体・新生児予後に及ぼす影響について検討することで、より良い子宮頸管長測定法を明らかにすることを目的とします。この研究は、既存の診療録を用いて行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年1月1日から2023年12月31日までに当院で分娩を行なった妊婦であり、かつ妊娠18～22週での経腔超音波検査を受けた症例を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・母体基本情報：母体年齢、妊娠歴、不妊治療の有無、既往歴、家族歴、内服薬、出生前検査、分娩週数、分娩時出血量、分娩方法、経腔超音波検査画像 ・児基本情報：出生時妊娠週数、出生時体重、性別、アプガースコア、臍帯血 pH、呼吸障害の有無、出生後に受けた検査と治療、NICU入室の有無	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	長谷川 瑛洋
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	情報の利用開始予定日：2024年7月頃～ ただし、この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：助教 長谷川 瑛洋（はせがわ あきひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。